

埼玉佛教

平成30年4月 第214号

平成30年4月20日 発行
 No.214
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 木村 盛雄
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社

【第10回埼玉佛仏教文化講座】



講師・石川良和師（千葉県館山市・那古寺〔坂東三十三観音霊場第33番結願寺〕・智山）

目次

第70回埼玉県讃佛歌奉詠大会 開催 平成30年9月10日(月) 会場 埼玉会館・大ホール	計報……………12	事務局日誌……………12	編集後記……………12	平成30年度第1回理事會……………11	▽埼玉同宗連……………11	▽埼玉県佛教保育協會……………11	▽埼玉県宗教連盟……………11	▽埼玉県宗教法人研修會……………11	平成30年度第1回理事會……………11	「梵字勉強會」……………10	「僧侶の未來を考える ワークショップ」……………10	トピックス……………10	▽埼玉県佛教青年會……………10	▽岩槻佛教會……………10	▽行田市佛教會……………10	▽入間東部佛教會……………9	▽羽生・行田市佛教會……………8	▽川越市佛教會……………8	地区仏教會だより……………6	・共同募金會……………6	・出欠一覽……………5	▽平成30年度予算……………4	▽平成30年度事業計画……………3	第1回臨時評議員會……………2	第2回臨時評議員會・理事會……………2	〔平成29年度〕……………2
--	-----------	--------------	-------------	---------------------	---------------	-------------------	-----------------	--------------------	---------------------	----------------	-------------------------------	--------------	------------------	---------------	----------------	----------------	------------------	---------------	----------------	--------------	-------------	-----------------	-------------------	-----------------	---------------------	----------------

平成29年度

第2回代議員会議

第2回理事会

平成30年3月9日(金)、10時30分から埼玉佛会館において、『平成29年度第2回代議員会議』が開催された。

会議では、別所隆雄代議員(伊奈)が互選され議長を務めた。

平成30年度事業計画案ならびに予算案について協議がなされ理事会上に上程されることが確認された。

代議員会議の終わりに、今年度、県佛大会主管地区となる行田市佛会館の福島伸悦師から大会の概要について説明がなされ



た。(下記参照)

同日、14時から『平成29年度第2回理事会』が開催された。

議長は倉持秀裕副会長が務めた。先の代議員会議で協議された内容に基づき協議され、平成30年度事業計画案ならびに予算案について議決された。



地区教化活動助成金について
本会は、地区仏教会主催の研修会に年1回助成金を支出しております。今年度から助成金が3万円から5万円に増額することが承認されました。

平成29年度

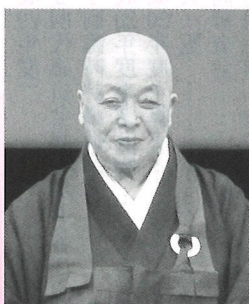
第1回臨時評議員会



平成30年3月30日(金)、15時から埼玉佛会館において、『平成29年度第1回臨時評議員会』が開催された。議長は、互選により、鷲津憲道評議員(越谷)が務めた。事業計画案(2頁)、予算案(3頁)が承認された。

また、会場を移し、懇親会が開催され、昨年度の評議員改選により新しく選任された評議員と共に新体制を確認しつつ、お互いの親睦を深めた。

第40回埼玉県佛教徒大会【主管 行田市佛会館】



期日 平成30年10月4日(木)

会場 行田市教育文化センター「みらい」・文化ホール
〔〒361-0032 行田市佐間3-24-7〕

講師 あおやま しゅんどう 青山 俊 董 師 (曹洞宗愛知専門尼僧堂堂長)

《後援 埼玉県北部地区仏教会》

秩父、小鹿野、北秩父、本庄、児玉、熊谷、荒南、寄居・花園・川本、深谷、妻沼、羽生、加須 ※順不同。詳細は決まり次第、お知らせいたします。

❖❖❖❖ 一般財団法人埼玉県佛教会 平成30年度事業計画 ❖❖❖❖

基本方針

埼玉県内寺院教会の緊密な連携のもと、県下佛教活動の推進、発展に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と佛教文化の向上に寄与するため、次の諸事業を行なう。

事業計画

総務

- 1 **第40回埼玉県佛教徒大会の開催**（主管 行田市佛教会・北部地区）
期日：平成30年10月4日（木）
会場：行田市教育文化センター「みらい」（入場無料）
- 2 **人権教育並びに「埼玉同宗連」との連携**
 - ①「埼玉同宗連」主催研修会・現地学習会への参加
 - ②部落解放同盟埼玉県連合会主催「人権フォーラム」への参加
 - ③人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会への協力（会長に木村盛雄当会会長が就任）
- 3 **佛教徒募金、歳末助け合い運動の実施**
 - ①佛教徒募金（善意銀行・歳末助け合い運動寄付）
 - ②共同募金会へ歳末助け合い運動寄付（佛教徒募金より）

財務

- 1 **会費納入と未納整理**
会費納入未納地区・会員への呼びかけ
- 2 **埼玉会館の管理運営**
 - ①貸店舗（2社）・貸事務所（2団体、2社）・駐車場（月極、時間貸）の管理運営
 - ②会議室（埼玉県庁、埼玉弁護士会ほか）の管理運営ならびに利用促進

教化

- 1 **第70回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会の開催**
期日：平成30年9月10日（月）
会場：埼玉会館「大ホール」
- 2 **第11回埼玉佛敎文化講座の開催**
一般（檀信徒）に向けた仏教文化等に関する講座の開催
- 3 **更生保護事業の推進・助成（清心寮）**
 - ①更生保護法人「清心寮」へ助成（80万円）
 - ②法務省「社会を明るくする運動（犯罪防止・更生保護啓発活動、7月強化月間）」への協力
- 4 **宗教法人研修会への参加推進**
宗教法人研修会（埼玉県総務部学事課・埼玉県宗教連盟共催）への協力、参加推進
・研修会会場（さいたま会場）として埼玉会館を提供
・平成29年度実績：熊谷会場（熊谷地方庁舎）平成30年2月2日（金）
さいたま会場（埼玉会館）平成30年2月9日（金）
- 5 **機関紙『埼玉佛教』発行等の広報活動**
 - ①機関紙『埼玉佛教』年4回発行
 - ②ホームページの運営（<http://www.saibutu.net>）

組織

- 1 **休眠地区対策**
休眠地区の再建、組織化を目指す
- 2 **組織の強化と全一仏教意識の高揚推進**
WFB世界大会への参加・協力
・世界仏教徒会議・世界仏教徒青年会議日本大会
期日：平成30年11月5日（月）～9日（金）
会場：マロウドインターナショナルホテル成田（千葉県成田市）
曹洞宗大本山総持寺（横浜市鶴見区）
- 3 **県佛青及び県佛保の育成並びに全青協への助成**
各団体に助成金
- 4 **自動車団体保険への加入**

散骨問題への対応
研究学習会の開催、対応方針の確立

善意銀行
義捐金及び仏教教化事業への助成

- ①義捐金（全日本仏教会へ寄託）
・平成28年度実績：熊本地震（30万円）
・平成29年度実績：九州北部豪雨（20万円）、福島県仏教会義援金（10万円）
- ②全日本仏教会 大蔵経テキストデータベース事業への協力

埼玉県ならびに埼玉県警察本部との連携
埼玉県ならびに埼玉県警察本部との協同活動
『交通安全運動の推進』、『振り込め詐欺防止』、『仏像盗難防止』、『暴力団排除』等

一般財団法人埼玉県佛教会 平成30年度 予算 (単位：円)

科 目	公益事業	法人会計	収益事業	30年度合計	29年度	増 減	備 考	
	公益事業	【一般会計】	【特別会計】					
収入の部	会 費 収 入		13,040,000		13,040,000	13,040,000	0	1カ寺8,000円
	佛 教 徒 募 金 収 入		3,040,000		3,040,000	3,040,000	0	目標額1カ寺2,000円
	奉 詠 大 会 収 入	1,600,000			1,600,000	1,800,000	△200,000	
	利 息 収 入		10,000		10,000	10,000	0	預金利子
	賛 助 金 収 入		1,600,000		1,600,000	1,650,000	△50,000	灯明料、年賀広告、協賛広告、関連団体協賛金
	雑 収 入		60,000		60,000	60,000	0	印刷代・コピー代(会議室利用者)
	貸 事 務 所 収 入			8,500,000	8,500,000	8,500,000	0	更新料含む
	駐 車 場 収 入			4,600,000	4,600,000	4,600,000	0	更新料含む
	施 設 利 用 料 収 入			2,000,000	2,000,000	1,500,000	500,000	埼玉会館会議室利用料
	代 理 店 収 入			100,000	100,000	100,000	0	第一生命・アフラック
前 期 繰 越		8,000,000		8,000,000	8,000,000	0		
経 常 収 益 合 計	1,600,000	25,750,000	15,200,000	42,550,000	42,300,000	250,000		
支 出 の 部	奉 詠 大 会 費	2,500,000			2,500,000	2,500,000	0	
	県 佛 大 会 費	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	
	仏 教 文 化 講 座 費	500,000			500,000	500,000	0	
	善 意 銀 行		600,000		600,000	600,000	0	
	広 報 費	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0	「埼玉佛教」4回発行、ホームページ、関連団体広告
	育 成 費	450,000			450,000	450,000	0	埼玉青・埼玉保・日仏婦
	全日本仏教会寄附金	650,000			650,000	650,000	0	
	「埼玉宗連」寄附金	350,000			350,000	350,000	0	
	「埼玉同宗連」寄附金	77,500			77,500	77,500	0	
	※地区教化活動助成金	1,530,000			1,530,000	1,530,000	0	地域行事助成
	埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
	更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0	
	歳末助け合い運動寄附金	600,000			600,000	600,000	0	共同募金会(「清心寮」へ指定寄附金50万円)
	全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
そ の 他 寄 附 金	55,000			55,000	55,000	0	県交通安全対策協議会、シャンテル国際ボランティア会、さいたま緑のワカ協会、彩の国コミュニティ協議会	
事 業 費 計	9,912,500	600,000		10,512,500	10,512,500	0		
給 料 ・ 手 当	2,940,000	420,000	5,040,000	8,400,000	8,400,000	0	4名分	
顧 問 料	35,000	140,000	525,000	700,000	700,000	0	税理士顧問料・司法書士報酬	
管 理 費	75,000	300,000	1,125,000	1,500,000	1,500,000	0	エレベーター管理・塵芥・モップ交換・防犯警備	
賃 金 ・ 報 酬	45,000	5,000	50,000	100,000	150,000	△50,000	アルバイト賃金	
租 税 公 課	260,000	1,040,000	4,400,000	5,700,000	5,700,000	0	固定資産税・謄本・法人税・消費税	
保 険 料	20,000	80,000	300,000	400,000	400,000	0	火災保険・傷害保険・あんしん財団	
福 利 厚 生 費	67,500	7,500	75,000	150,000	150,000	0	コーヒー・お茶・残業食事・常備薬	
旅 費	585,000	39,000	26,000	650,000	850,000	△200,000	職員旅費	
会 議 費	900,000	60,000	40,000	1,000,000	1,000,000	0	評議員会・理事会・代議員会議・委員会 諸費用	
報 償 費 ・ 旅 費	1,260,000	84,000	56,000	1,400,000	1,600,000	△200,000	役員旅費、29年度全日本仏教会創立60周年記念事業、30年度 WFB 世界大会	
光 熱 水 費	770,000	110,000	1,320,000	2,200,000	2,200,000	0	電気・水道	
印 刷 費	270,000	18,000	12,000	300,000	300,000	0	名刺・封筒	
書 籍 費	135,000	9,000	6,000	150,000	150,000	0	新聞雑誌購読料・書籍購入費	
備 品 費	40,000	40,000	720,000	800,000		800,000	会館備品、パソコン	
消 耗 品 費	227,500	32,500	390,000	650,000	750,000	△100,000	コピー用紙・文具・カウンター料	
通 信 費	262,500	37,500	450,000	750,000	750,000	0	電話・郵便料・運賃・ジェイコム・葉書	
賃 借 料	812,000	55,000	33,000	900,000	900,000	0	事務機器リース料	
研 修 交 流 費	135,000	9,000	6,000	150,000	150,000	0	他団体との交流・研修	
交 際 費	180,000	12,000	8,000	200,000	200,000	0		
中 退 共 掛 金	196,000	28,000	336,000	560,000	420,000	140,000	職員退職金積立	
慶 弔 費	135,000	9,000	6,000	150,000	200,000	△50,000		
修 理 費	350,000	50,000	600,000	1,000,000	1,000,000	0		
雑 費	45,000	3,000	2,000	50,000	100,000	△50,000	送金料、残高証明他	
管 理 費 計	9,745,500	2,588,500	15,526,000	27,860,000	27,570,000	290,000		
積 立 金		2,000,000		2,000,000	2,000,000	0	修繕積立	
予 備 費		2,177,500		2,177,500	2,217,500	△40,000		
経 常 費 用 合 計	19,658,000	7,366,000	15,526,000	42,550,000	42,300,000	250,000		

※地区教化活動助成金は、30,000円から50,000円に増額することが決まりました。(但し、各年度毎に一度限り。)

《 出 欠 一 覧 》

(○出席者、△委任状、敬称略・順不同)

平成29年度 第2回代議員会議

平成30年3月9日(金)10:30~・埼玉会館 1階多目的ホール

会 長	△ 木村 盛雄 [所沢/持明院]	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]
副 会 長	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]	
専 務 理 事	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]	
常 務 理 事	△ 糸原 恒久 [川越/蓮馨寺]	△ 山口 正純 [川口/密藏院]
	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]
監 事	○ 河野 亮仙 [浦和/延命寺]	○ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]
	○ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]	
代 議 員	△ 本間 照常 [浦和/真弘寺]	△ 鷺山 眞哉 [大宮/多聞院]
	△ 佐々木 章友 [与野/妙行寺]	△ 小堤 孝雄 [川口/傑傳寺]
	○ 明見 弘道 [鴻巣/善勝寺]	△ 小澤 泰明 [上尾/馬蹄寺]
	△ 斉藤 純孝 [蕨・戸田[事務局]/妙顯寺]	○ 陶山 憲裕 [朝霞/三光院]
	○ 別所 隆雄 [伊奈/法光寺]	○ 野口 孝之 [吹上/宝蔵院]
	△ 千田 亮澄 [川越/最明寺]	○ 山田 亮裕 [所沢/佛眼寺]
	○ 平山 暢昭 [飯能/廣渡寺]	△ 西村 宗洋 [狭山[事務局]/慈眼寺]
	○ 豊田 春勇 [入間/高正寺]	○ 横山 亮英 [入間東部/來迎寺]
	○ 光地 英隆 [坂戸・鶴ヶ島/西光寺]	△ 渋谷 辨洋 [越生・毛呂山/延命寺]
	○ 大澤 貴秀 [東松山・滑川/福正寺]	△ 志治 孝昭 [小川連合/輪禪寺]
	○ 佐伯 頼栄 [都幾川/慈光寺]	○ 宮崎 弘照 [川口/円通寺]
	○ 村井 栄行 [吉見/息障院]	△ 幸田 恵幸 [鳩山・玉川/光明寺]
	△ 中井 隆吾 [秩父/光明寺]	△ 新井 賢淳 [小鹿野/徳蔵院]
	○ 土橋 元孝 [北秩父/大林寺]	△ 大野 宏文 [本庄/開善寺]
	△ 配嶋 光昭 [児玉/長慶寺]	△ 宮崎 憲田 [熊谷/實相院]
	○ 中村 信雄 [深谷/長福寺]	△ 秋場 寛量 [荒南/普門寺]
	○ 備前島 賢光 [妻沼/圓滿寺]	○ 眞島 亮悟 [寄居・花園・川本/浄福寺]
	○ 福島 伸悦 [行沼/長光寺]	○ 久保 隆夫 [加須/青蓮寺]
	○ 浅野 守信 [羽生/圓照寺]	○ 遠藤 隆雄 [岩槻/大光寺]
	○ 池田 常臣 [春日部/圓福寺]	△ 丹羽 尊照 [草加/西願寺]
	○ 樋口 円准 [越谷/法光寺]	△ 猪俣 哲夫 [久喜/光明院]
	○ 内田 弘明 [三郷/正円寺]	△ 島崎 英種 [菖蒲/正眼寺]
	△ 吉良 英光 [幸手/正福院]	○ 新井 孝憲 [蓮田/星久院]
	△ 矢部 玄道 [白岡/寿楽院]	△ 今野 泰男 [宮代/醫王院]
	△ 岡田 宏史 [鷲宮/靈樹寺]	△ 石垣 正順 [栗橋/深廣寺]
	○ 齊藤 淳道 [松伏/静栖寺]	○ 寺内 龍弘 [杉戸/無量院]
	△ 白井 宥宝 [庄和/東光院]	○ 細沼 秀行 [吉川/定勝寺]
事 務 局	○ 金子 嘉広 [事務局長]	○ 小池 康宏
		○ 本間 照康
		【代議員 出席29名・委任状26名 合計55名/現数55名】 / [地区名/寺院名]

平成29年度 第2回理事會

平成30年3月9日(金)14:00~・埼玉会館 2階東西會議室

理 事	△ 木村 盛雄 [所沢/持明院]	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]
	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]
	△ 糸原 恒久 [川越/蓮馨寺]	△ 山口 正純 [川口/密藏院]
	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]
	△ 井倉 賢照 [鷲宮/寿徳寺]	○ 穂積 容山 [鴻巣/龍昌寺]
	○ 眞島 亮悟 [寄居・花園・川本/浄福寺]	○ 菅間 隆惇 [深谷/華蔵寺]
	○ 別所 隆雄 [伊奈/法光寺]	○ 矢光 雪巖 [蓮田/保福寺]
	○ 津島 英世 [吉川/延命寺]	△ 島崎 英種 [菖蒲/正眼寺]
	○ 宮寺 守正 [鳩山・玉川/金澤寺]	△ 関口 亮樹 [蓮田/遍福寺]
	△ 五十嵐 義丈 [秩父/源蔵寺]	△ 佐藤 光弘 [行田/遍照院]
	△ 沼田 正順 [川越/妙昌寺]	○ 備前島 賢光 [熊谷/圓滿寺]
	△ 西島 隆宣 [所沢/願誓寺]	○ 大野 宏文 [本庄/開善寺]
	○ 金剛 清輝 [川越/養壽院]	
監 事	○ 河野 亮仙 [浦和/延命寺]	○ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]
	△ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]	
事 務 局	○ 金子 嘉広 [事務局長]	○ 小池 康宏
		○ 本間 照康
		【理事 出席15名・欠席10名/現数25名】 / [地区名/寺院名]

平成29年度 臨時第1回評議員會

平成30年3月30日(金)15:00~・埼玉会館 2階東西會議室

評 議 員	○ 石川 法夫 [久喜/善徳寺]	○ 上村 正剛 [岩槻/彌勒密寺]
	○ 大嶋 法道 [岩槻/慈恩寺]	○ 角山 祥隆 [荒南/保安寺]
	○ 藤井 壽雄 [吉川/清浄寺]	○ 馬路 宏樹 [入間/長徳寺]
	○ 實淨 龍彦 [川越/栄林寺]	△ 森田 真隆 [都幾川/全長寺]
	△ 吉田 宏哲 [本庄/宥勝寺]	○ 鷺津 憲道 [越谷/観照院]
	△ 和氣 昭祐 [上尾/相頓寺]	○ 外岡 信昭 [川口/妙仙寺]
	△ 坂東 隆秀 [深谷/正傳院]	△ 福島 伸悦 [上尾/長光寺]
	○ 江連 俊裕 [川口/錫杖寺]	○ 木村 秀明 [浦和/成就院]
会 長	△ 木村 盛雄 [所沢/持明院]	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]
副 会 長	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]	
専 務 理 事	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]	
常 務 理 事	△ 糸原 恒久 [川越/蓮馨寺]	○ 山口 正純 [川口/密藏院]
	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]
監 事	○ 河野 亮仙 [浦和/延命寺]	○ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]
	△ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]	
事 務 局	○ 金子 嘉広 [事務局長]	○ 小池 康宏
		○ 本間 照康
		【評議員 出席11名・欠席5名/現数16名】 / [地区名/寺院名]

「埼玉県共同募金会」
 歳末助け合い募金協力

平成30年2月15日(木)、本会は、埼玉県共同募金会への歳末助け合い募金に60万円を協力。内50万円を更生保護法人「清心寮」に指定寄附を行い、10万円を共同募金会へ寄附した。



「第10回埼玉佛敎文化講座」

平成30年2月15日(木)、13時30分から埼玉佛敎会館、1階多目的ホールで「第10回埼玉佛敎文化講座」を開催した。講師は千葉県館山市にある真言宗智山派寺院、那古寺(坂東三十三観音霊場第33番結願寺)住職の石川良和師。参加者は60名。講座は「札所巡礼―札所巡礼の心構えと御朱印の意義、歴史を学びましょう―」と題して講演と事前アンケートで寄せられた質問に石川先生が回答するという2部構成で実施された。

開会行事では、加藤玄静副会長が開会挨拶ならびに講師紹介を行った。

―以下講演内容(一部抜粋)―

社会科学見学でお寺を訪れた小學生から「お寺ってどんな目的で建てられたのですか?」と質

問されました。そこで私は「誰もが皆、幸せになりたいと思っています。しかし、自分の力だけでは限界があるかもしれない。そこで仏様の力を借りてみんなと共に生きていこうと祈りを捧げる場として建てたのだと思いますよ」と答えました。

この話を年上の檀家さんにした時「その質問をした子どもも自分の家に仏様を祀っているのでしょうか? 私達が育っている時には、そんな事って考えもしなかったでしょう。仏様、

神様には頭を下げるものであって、両親や祖父母が合掌低頭してお祈りをしているのですから、自分達も合掌低頭することが普通だと思ってきました。ところが近頃、子育て中の家に仏様を祀っていない家庭が多く、低頭する姿を目にする機会がありません。だから、それらの根本である寺に対してそのような疑問を持つ小学生がいても不思議ではないと思いますよ」と言われ



てハツとしました。

寺は、亡くなった人を讃えながら、その生き方を自分たちの参考にしよう、その人と縁があることを大事にしようと思える場所の一つであって良いわけですね。それらを実感するということが墓参りや、寺参りであり、それが関連した札所巡礼であると思います。

仏様に正対して合掌低頭する姿の中には、仏教徒が守るべき『体の行い、言葉の行い、心の行い』を表した十善戒という教



えがあります。この3つの行い
を一つにすることによって初め
てご本尊様をお参りする、祈る
ということになります。そして、
仏様自体もそれを我々に示して
くださっているということを感じ
ながら、仏様と一緒になろう、
仏様の真似をしようとするこ
と。さらに、『天地自然の恵み、仏
様への恩恵、衆生への恩恵、父
母への恩恵』この4つの恩恵を
感じながら心を穏やかにしてい
くことが大切です。これらを実
践することが巡礼行なのです。

札所巡礼の起源は、1300
年前の718年。奈良・長谷寺
の開基・徳道上人が62歳で亡く
なり、冥途で閻魔様に出会った
際「生前の悪行によって地獄へ
送られるものが多い故、観音の
霊場へ参ることにより功德が得
られるよう、人々に観音菩薩の
慈悲の心を説きなさい」とのお
告げを受け、33個の宝印を授
かって現世に戻されたという話

があります。これが、やがて観
音霊場を巡る西国三十三所とい
う信仰となり、西国三十三所は
日本最古にして、巡礼の元祖と
なったのです。33という数字は、
観音経の中で観音様が33のお姿
に変わって衆生を救い導くとい
うことが由来です。そこで、徳
道上人が極楽往生の通行証とな
る宝印をお配りになったという
場所が、観音菩薩が衆生を救う
ために示現された霊験所や寺院
なのです。

坂東三十三観音霊場は西国の
写し霊場として1234年には
存在していたという記録が残っ
ています。関東中心の霊場と京
都を中心に点在する霊場を区別
するために箱根の山を「坂」に
見立てて坂の東側と言うことで
坂東、関東から西側を西国とい
う名称を用いたのです。秩父は
秩父札所三十四ヶ所観音霊場で、
元は三十三ヶ所でしたが、火災
で焼失した寺を補うために一寺
を加えて三十三に戻りました。

後に被災寺院が再興されたので
含めて三十四ヶ所観音霊場と
なって定着したのです。こうし
て西国、坂東、秩父を足して日
本百観音霊場ができあがりまし
た。

御朱印は納経印とも言われて
います。写経したものを納める
のも納経ですが、ご本尊様に読
経を聴いていただくのも納経。
そして仏様とのご縁が結ばれた
証しとしていただくものが御宝
印です。その際、納経料を喜捨
してください。これは御宝印を
いただくことへの対価ではない
ことを申し上げておきます。

御朱印をいただくのは神様と
仏様一緒にして良いのかと聞か
れます。お宮の場合には『○○
神社奉拝と参拝した日付』が書
かれます。一方、お寺は「札所
○番、ご本尊の印、寺の印が押
され、様々な仏様を表す別称」
が書かれたりして構成要素が全
く異なります。それぞれに価値
があるものですから、別々にし

ていただいた方が良いと思いま
す。

納経帳は自身がご本尊様に正
対した「気持ちの集大成」です。
是非、表装して納経軸や枕屏風
にしてください。巡礼の時に身
につけていた数珠や袈裟と一緒に
何時でも見える所に飾ってくだ
さい。巡礼していった頃に思い
を馳せることができると同時に、
後世に大切なものであると伝え
る事もできます。朱印を集める
ことだけに傾倒して、ご本尊様
へのお参りをしないのでは単
なるスタンプラリーで終わってし
まいます。



地区仏教会だより

「成道会記念

川越仏教講座」

「川越市佛教会」

平成29年12月2日(土)、浄土宗蓮馨寺本堂に於いて川越市佛教会(千田亮澄会長)主催による成道会が行なわれました。当日は冬らしい凛とした空気と晴れた空の下、約100名の一般来場者をお迎えし盛大に開催することができました。

第1部として、当会副会長の佐々木俊道(泉福寺)住職の開会の辞で成道会についてお話しいただいたのち、蓮馨寺糸原恒久住職ご導師のもと、16名の会員尊師により成道会法楽が厳修されました。勤行聖典を配布し、会場の皆様にも聖典をお唱えいただきました。法要後、会長の

千田亮澄(最明寺)住職の挨拶をいただきました。

第2部としては、約1時間にわたり成道会記念講演が行われ、講師にはインド禪定林住職・サンガラトナ・法天・マナケ先生による「慈悲の光をインドの大地から」を参加者一同笑いも交えながら拝聴していただきました。

その後第3部として、昨年引き続き、理学療法士の佐藤大志先生による「いもっこ体操」(自宅でもできるストレッチ体操)で体をほぐしていただきました。参加者一同、心身ともにリフレッシュしていただけたのではないかと思います。

少しでも皆様に心ゆたかな生活を送っていただく為の糧となれば幸いです。多くの方々のご尽力とご法助のもと、盛会のうちに円成出来ましたことを御礼申し上げます。

(報告・川越市佛教会事務局)

羽生市・行田市仏教会 合同研修会

「羽生市仏教会」

「行田市佛教会」

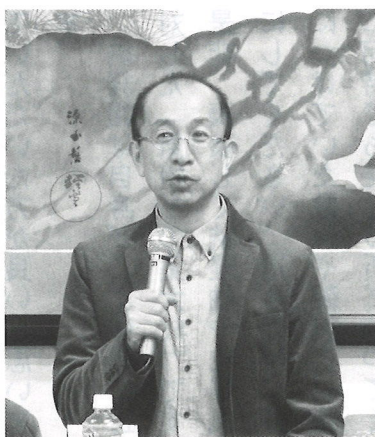
平成29年12月3日(日)、羽生地区(浅野守信会長)は、羽生市内の富徳寺本堂・客殿を会場に、行田地区(福島伸悦会長)

と合同で、講師に株式会社寺院デザイン代表取締役の薄井秀夫氏を迎え、『これからの寺院経営について』の研修会を行なった。演題は「お寺をめぐる何がおきているか―葬儀、お墓そしてお寺の未来」。

さて、山間・農村部の寺院は、その運営が非常に厳しい状況を迎えつつある。東京からの通勤圏といわれる距離、50キロの外にある行田・羽生地区も例外ではない。檀家の多くの家で暮しているのは、老人ばかりであり、子供たちは東京などの都市部に家を買ひ(または借りて)、そちらで暮らしており、この地区

に帰ってくることはほとんどない。それ故、一人暮らしの老人が亡くなり、その葬儀が終わると、もはやその墓を見る者がいないという状況が続出しているのだ。この状況が進めば、当地域の寺院では檀家が極端に減少し、もはや寺院を運営することが不可能になることは明白である。

もとより、この地区の多くの寺では、住職は副業を持ち、その収入を以て生活をしている例がほとんどである。このような現状に鑑みて、寺院の未来をどのように見据えて行けばよいのかを考えるべく、「寺院の将来はどうなる? 今、再生をかける」などの講演を行っている薄





井秀夫氏を招いて、研修会を行なった。

最近テレビなどで、よく「仏教再生」の取り組みが特集される。曰く「本堂でのロックコンサート、寺院カフェ」。確かに、話題としては面白いが、少なくとも農村地域では現実味がない。若い人が少なく、こういったイベント自体の開催が不可能なのだ。そのような状況の中、薄井氏の提言は極めて有効なものと思われた。すなわち薄井氏

は、多くのデータを示して、日本人の「先祖を思う気持ち」が、諸外国に比べ高いことを示した。そして、この傾向は、若い人の間でも極端に低下していないというのだ。このことは「先祖供養」を強調することによって、寺院の再生が図れることを物語っている。実際、『般若心経』や「諸行無常」といった言葉を知らなくとも、寺の墓に詣で、熱心に手を合わせる人の中には、老人だけではなく、若い人も見受けられる。ただし、薄井氏が言うように、ここに問題がないわけではない。それは、我々日本人が先祖を敬ってきた要因のうち、大きな割合を占めるのが、特に長男が先祖から田畑と家を受け継いできたことである。これによって家の継続が図られ、従って先祖の眠る墓も守られてきたのだ。ところが、現今、これが崩れつつある。すなわち、家や土地の相続が長男に限られるのではなく、兄弟姉妹に分割されることが当たり前になって

しまったことだ。さらには、もはや農家を継がなくなった子供は、田畑を相続しても、それがかえって負担になるという状況すら見られるようになってきている。我々は、改めて「御先祖様」に感謝する気持ちを喚起することが大事だろう。それは、単に先祖から「家や田畑」をもらったからではなく、もつと大事なものをもらっていることに気づいてもらうことかもしれない。すなわち、真に先祖を感謝する心をもつことにより、多少離れた、先祖の眠る田舎の寺院にも目を向けてもらうのだ。

(報告・羽生地区会長

浅野守信)



人間東部仏教会研修会

「人間東部仏教会」

平成30年2月28日(水)、人間東部仏教会(横山亮英会長)は、富士見市内の來迎寺に於いて研修会を行いました。講師には、行政書士・葬祭カウンセラーである勝桂子先生を御招きし『現代に求められる僧侶(聖)像』と題して講演をいただきました。先生は行政書士として扱った事例に加え、御自身の家庭のことにも触れられながら、理想の僧侶像を熱く語って下さいました。住職、副住職合わせて20名程の小さな研修会ではありましたが、参加者は最後までメモを取りながら熱心に聴き入っていました。先生には懇親会にも御同席頂き、研修会の時とはまた違った雰囲気の中で会話を楽しんでもらえたのが印象に残りました。

(報告・人間東部仏教会会長)

東日本大震災追悼法要

および講演会

「行田市佛教会」

平成30年3月11日(日)午後2時46分から、東日本大震災で被災し逝去された方々への追悼法要(東日本大震災追悼法要)

が長光寺(導師・行田市佛教会会長福島伸悦師)本堂にて、厳修された。参加者は、行田市佛教会僧侶8名、一般檀信徒42名であった。その後、追悼講演として、共立女子大学・早稲田大学オープンカレッジ講師を務め



る朗読家の中里貴子氏により『東北に思いをよせて』と題して、東北にまつわる寓話の朗読が行われた。

(報告) 行田市佛教会事務局長・

龍泉寺・柿沼和秀

「第36回仏教講演会」

「岩槻仏教会」

平成30年3月28日(水)、岩槻仏教会(遠藤隆雄会長)は岩槻本丸公民館視聴覚ホールに於いて「第36回仏教講演会」を開催いたしました。講師は大蓮寺住職の蓮池光洋師(前橋市大蓮寺・浄土)。「道を求めて 今をゆく」と題して、日本の代表的な童謡や唱歌を通じ、ご自身の体験、歌の作者の思いや時代背景を交えて、お釈迦様がお説きになった「生老病死」についてわかりやすくお話をしていた

だきました。心伝えるためには声を出すことが大切であり、会場中一緒に「宵待草」「さくらさくら」「みかんの咲く丘」「赤い靴」など懐かしい曲を歌

いながら、「共生(ともいき)」の精神である、みんなと一緒に今を大事に過ごし、苦しみを乗り越えて生きゆく心を学ばせていただきました。参加した檀信徒からは「とても楽しいひとときが過ごせました」と感想をいただきました。

(報告) 岩槻仏教会

事務局長 齊藤実朗

トピックス

埼玉県佛教青年会

「梵字勉強会」

平成30年2月26日(月)、埼玉佛会館において埼玉県佛教青年会(萩原裕史会長)は、児玉義隆師(さいたま市桜区・永福寺・智山)を講師に招き「梵字勉強会」を開催した。古来より聖なる「ぼとけ」として尊崇されてきた梵字を、宗派にこだわらず誰でも学び、書写できるように開講している勉強会。自坊のお塔婆から、本尊種子、梵字での写

経、真言・陀羅尼などご自身の目的に合わせて学ぶことができ、また、毛筆や刷毛のどちらでもご指導いただくことができる。

「僧侶の未来を考える

ワークショップ」

平成30年2月28日(水)、埼玉佛会館において埼玉県佛教青年会は、全日本仏教青年会理事長の倉島隆行師を講師に招き、僧侶の未来を考えるワークショップを開催した。5名ずつ3つのグループに分かれ、リーダーを中心に、現代における僧侶像や、



そこに至るまでの研鑽方法を議論し発表した。僧侶の他、仏教系大学に通う学生が参加。その他、企業から参加の方は、「5年先、10年先を超宗派で考える機会を設けて、今後の僧侶のあり方を真剣に考える機会は大変参考になりました。私たち民間企業でも、じっくり考えてシェアする機会を創る必要があると感じました」との感想を寄せた。

埼玉県宗教連盟

「平成29年度宗教学法人研修会」

平成30年2月2日(金)と9日(金)、埼玉県宗教連盟と埼玉県総務部学事課の共催により、平成29年度宗教学法人研修会が開催された。本会は例年、埼玉県総務部学事課からの要請により、さいたま会場として、埼玉会館を会場として提供している。

参加者の実績は、2日(金)の熊谷会場では、前日の降雪の関係もあり参加者9名、9日(金)のさいたま会場は参加者

37名でそれぞれ開催された。参加者は仏教系、神道系、キリスト系が主で、その他新宗教団体が続く。第1回目の熊谷会場での開会行事では、加藤玄静理事(当会副会長)が、また、2回目のさいたま会場では高橋慶宣副理事長(天理教)が主催者挨拶を行った。研修会は、学事課担当者による「埼玉県における基本的な事務手続きについて」の講義を60分行い、特別研修では、「食の安全・安心確保」と題して食中毒の予防についての講演が60分行われた。

「平成30年度第1回理事会」

平成30年4月2日(月)埼玉県宗教連盟(木村盛雄理事長)は、平成28年12月に移転した埼玉県神社庁新庁舎にて、平成30年度第1回理事会を開催し、平成29年度の事業報告、決算および今年度の事業計画案、予算案について協議され、それぞれ承認された。理事会終了後、理事の武田淳氏の案内で庁舎内を見学した。



「埼玉同宗連」

「平成30年度第1回役員会」

平成30年4月4日(水)、10時30分から「埼玉同宗連」(倉持光恭議長)は埼玉会館にて、平成30年度第1回役員会を開催し、平成29年度の事業報告、決算および今年度の事業計画案、予算案について協議され、6月19日(火)、埼玉会館にて開催予定の総会に上程されることが決まった。また同日午後から第47回研修会が開催される。研修会の案内は、「埼玉同宗



埼玉県佛教保育協会

「平成30年度第1回理事会」

平成30年4月4日(水)、15時から、埼玉県佛教保育協会(丹羽義昭会長)は埼玉会館にて、平成30年度第1回理事会を開催し、昨年度の事業報告、決算および今年度の事業計画案、予算案について協議し、来る6月5日(火)の総会に上程することが決まった。

連」への連携の一環として、本会の総務委員(委員長・糸原恒久常務理事)にも郵送する。

討報

事務局日誌

お悔やみ申し上げます。

平成30年 1月

平成30年 1月

5日▼事務局仕事はじめ

8日 神川町般若寺(豊山)

▼「埼玉青」写仏

大久保 健興 師(77歳)

6日▼「解放同盟」県連旗びら

28日 羽生市大光院(智山)

き(ホテルガーデンパレス

萩原 條云 師(80歳)

熊谷/深谷専務、金子局長、本間)

2月

15日▼「埼玉連」新年懇親会

5日 宮代町西光院(智山)

18日▼「人権埼玉」政府要請行動(衆議院第一会館/深谷

吉田 照真 師(91歳)

16日 さいたま市浄源寺(本願)

専務、本間)

24日▼川口市佛教会・県佛大会

27日 鶴ヶ島市善能寺(智山)

実行委員会解散式/新年懇親会(銀座アスター川口賓

諸井 信之 師(65歳)

館/深谷専務、金子局長、小池)

3月

小池)

10日 加須市西福寺(浄土)

25日▼平成29年度第2回執行部

古岩井 淳道 師(89歳)

会/新年懇親会(浦和ロイヤル

16日 秩父市東昌院(曹洞)

ヤルパインズホテル)

町田 知明 師(58歳)

26日▼「埼玉佛保」新年懇親会(南

28日 飯能市秀常寺(智山)

浦和・彩蔵)

井上 弘道 師(92歳)

27日▼「埼玉佛保」第33回埼玉県

佛教幼児画展(28日)

30日▼「全仏」新年懇親会(金子局長、本間)

2月

2日▼平成29年度宗教法人研修

会(熊谷地方庁舎/小池)

7日▼「埼玉同宗連」新年懇親

会(浦和・山崎屋)

9日▼平成29年度宗教法人研修

会(埼玉会館)

15日▼第10回埼玉佛仏教文化講座

20日▼「埼玉青」写仏

26日▼「埼玉青」梵字勉強会

27日▼総務委員会・財務委員会

3月

2日▼教化委員会・組織委員会

9日▼平成29年度第2回代議員

会議/第2回理事会

▼「解放同盟」狭山事件集

会(ときわ会館/金子局長、本間)

13日▼「埼玉青」写仏

22日▼「埼玉青」事務局会

28日▼「埼玉青」僧侶の未来を
考えるワークショップ

30日▼平成29年度第1回臨時業
議員会/懇親会(彩懐石う
らわ高砂)

4月

2日▼「埼玉連」平成30年度第

1回理事会(埼玉県神社庁

舎/金子局長、小池、永堀)

4日▼「埼玉同宗連」平成30年

度第1回役員会/「埼玉佛保」

平成30年度第1回理事会

10日▼「埼玉青」写仏

編集後記

二十四節気の穀雨(こくう)：地上にある
たくさんさんの穀物に水分と栄養
がため込まれ、元気に育つよう、
天からの贈り物でもある恵みの
雨がしつとりと降り注ぐのが今
頃。花粉や黄砂はもうたくさん。

(鯉)